

事業コード	H29-建-継-17		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	通常砂防事業		部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	砂防堰堤工1基・山腹保全工等		班 名	砂防・防災班(tel:018-860-2518)
路線名等	上内町1・諸子沢		担当課長名	河川砂防課長 小野 久喜
箇所名	横手市上内町		担当者名	副主幹(兼)班長 佐藤 鉄也
プランとの関連	政策コード	01	政 策 名	県土の保全と防災力強化
	施策コード	01	施 策 名	健全な県土保全の推進
	指標コード	01	施策目標(指標)名	地震、治水、治山対策等による生命と財産を守る安全な地域づくり

1. 事業の概要

事業期間	H25 ~ H34 (10年)	総事業費	3.0 億円	国庫補助率	50	
事業規模	○砂防堰堤N=1基(H=9.0m、L=50.0m) 溪流保全工L=68.6m 床固工N=6基 ○山腹保全工N=1式					
事業の立案に至る背景	○当溪流は横手市上内町に位置し、保全対象として災害時要援護者施設(医療法人興生会のぞみ、グループホームつばさ、メンタルサポートセンターのぞみ)3施設、人家73戸、市道540m等を抱える土石流危険溪流である。 ○流域内では山腹に一部崩落が見られ不安定土砂が堆積しているため、豪雨等により土石流が発生した場合には、災害時要援護者施設、人家、市道等に甚大な被害が発生する恐れがある。このような土砂災害から砂防施設をもって人命、財産を保全するために新規事業箇所として着手したものである。					
事業目的	【主たる目的】 ○土石流を砂防堰堤で捕捉し、下流域にある人家を保全し、住民の生命・財産を守り、安全・安心な地域の創出を図る。 【保全対象】 ○災害時要援護者施設3施設、人家73戸、市道540m 等					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	
	事業費	232,000	300,000	68,000	現地調査結果による床固め基数の増による	
	経費					
	工事費	177,000	245,000	68,000		
	内 訳	用補費	7,000	7,000	0	
		その他	48,000	48,000	0	
		国庫補助	116,000	150,000	34,000	
県 債		104,400	135,000	30,600		
財 源 内 訳	その他			0		
	一般財源	11,600	15,000	3,400		
事業内容	本工事 地形測量 用地補償 詳細設計	本工事 地形測量 用地補償 詳細設計				
事業の進捗状況	・全体事業費 2.32億 ・H28年度末投資額 1.17億 ・進捗率 50.4%					
事業推進上の課題	諸子沢に一部共有地があり、用地交渉に時間を要している。 床固め基数の増(5基→6基)による事業費の増。					
関連する計画等	○第2期ふるさと秋田元気創造プランにおいて、県民の基礎的な生活環境の整備を進めるため、継続的に取り組む基本政策のうち、「県土の保全と防災力強化」に位置付けられている。					
情勢の変化及び長期継続の理由	○近年、全国各地において集中豪雨に伴う土砂災害が発生しており、ハード・ソフト一体となった砂防設備整備が急務になっている。 ○流域内の溪流には多くの不安定土砂と倒木が堆積しており、今後の融雪や豪雨による土石流発生の危険性が高まっている。					
事業効果把握の手法及び効果	指標名	土石流の危険箇所に対する概成率(%)				
	指標式	概成率=対策済箇所数/土石流危険箇所数				
	指標の種類	○成果指標 ●業績指標	低減指標の有無	○有 ●無		
	目標値 a	17.5%	データ等の出典	河川砂防課		
	実績値 b	16.7%	把握の時期	平成29年3月		
達成率 b/a	97.1%					

前回評価結	● 選定または継続 ○ 改善 ○ 見直し ○ 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評 価 点
必 要 性	○土石流が発生した場合は、災害時要援護者施設（医療法人興生会のぞみ、グループホームつばさ、メンタルサポートセンターのぞみ）や下流の人家、市道が被災し、甚大な被害が発生するため、事業の必要性は高い。 ○当溪流は地元住民より、早期の対策を要望されている。 ○砂防法第5条により工事の施工は都道府県が行うものと位置付けられている。	20点
緊 急 性	○流域内は斜面勾配が急であり、流域内において崩落した土砂が崩落地の下部に堆積しており、豪雨が発生した場合には土石流が発生する恐れがあるため、早急な整備が必要である。 ○「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」において整備率の向上が必要な土砂災害危険個所に位置付けられており、事業継続は妥当である。	22点
有 効 性	○施設の整備により土砂災害から人命や財産、市道などが守られ、下流域の安全性が短期間に確保できる。 ○土石流危険渓流の整備率の工場に直接寄与する事業で有り、施策目標への貢献度は高い。	10点
効 率 性	○事業の費用便益費は22.26であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 2.62億円 ・総便益の現在価値 58.33億円 ○事業費は、現地発生材の有効利用などでコスト削減を実施している。	18点
熟 度	○山腹崩壊を心配する通報があった経緯があり、地元住民の防災意識が高く、合意形成が済んでいる。 ○横手市で砂防施設の必要性について認識しており、横手市からの要望書が提出され、合意形成がなされている。	16点
判 定	ランク (●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ) すべての項目において評価点が高く、住民生命・財産を保全する上でも有利な事業箇所であり、継続すべきと考える。	86点
総 合 評 価	● 継続 ○ 改善して継続 ○ 見直し ○ 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

コスト削減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 砂防事業

事業コード (H29-建-継-17)
箇所名 (上内町1・諸子沢 横手市上内町)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	災害発生時の影響(被害想定)	人家戸数	20戸以上	10	10	73戸	
			5戸～19戸	7			
			1戸～4戸	3			
			0戸	0			
	公共・公益施設	以下に挙げる公共・公益施設がある 災害時要援護者関連施設 重要交通(緊急輸送道路、避難路、鉄道) 防災拠点(警察、消防、役場等) ライフライン施設(電力、ガス、水道等) 利用者多数(学校、駅舎等)	公共・公益施設がある	10	10	医療法人興生会のぞみグループホームつばさ メタルポートセンターのぞみ 市道540m	
			なし	5			
			なし	0			
	計			20	20		
	緊急性	災害実績	過去の災害発生履歴	過去に災害の発生した記録がある	5	0	なし
				過去に災害の発生した痕跡や情報がある	3		
なし				0			
災害発生の危険度		想定される流出土砂量	1000m ³ 以上	7	7	2,370m ³	
			1000m ³ 未満	3			
		想定される流出流量	20m ³ 以上	6	3	18m ³	
			20m ³ 未満	3			
		荒廃面積	流域面積の10%以上	6	6	12.5%	
			流域面積の10%未満	3			
河床堆積、溪岸侵食状況		破砕帯、火山噴出物地帯、花崗岩地帯、第三紀層地帯	6	6	第三紀層		
	その他	3					
計			30	22			
有効性	上位計画への貢献	ふるさと秋田元気創造プラン	プランに関連する事業である	5	5	基本政策「県土の保全と防災力強化」	
			プランとは別の個別計画に関連する事業である	3			
			プラン、個別計画に関連しない事業である	0			
	ソフト対策との関連性	公表周知している情報の内容	土砂災害防止法に係る基礎調査	5	5	上内町1(山の手沢) 諸子沢 平成20年3月28日告示	
			土砂災害危険箇所マップ等	3			
			なし	0			
計			10	10			
効率性	費用対効果	B/C	1.0以上	10	10	B/C=22.26	
			1.0未満	0			
	事業実施コストの削減	コスト削減の具体的計画	あり	5	5	残存型枠や発生材の有効活用、再生骨材の使用等	
			なし	0			
	当初計画との比較	当初計画事業費からの増減	減少または10%未満の増加	5	3	232百万円→300百万円 29.3%増	
			10%以上～30%未満の増加	3			
30%以上の増加			0				
計			20	18			
熟度	事業着手の熟度	地元のニーズ	文書要望あり	5	5	要望書あり (横手市)	
			口頭要望あり	3			
			なし	0			
	関係自治体等との合意形成	合意形成が済んでいる	合意形成がなされる見込みである	5	3	地元説明会等で要望あり	
			合意形成がなされていない	3			
			合意形成がなされていない	0			
	事業の進捗状況	進捗率(事業費)	8割以上完了	10	8	50.4% (171百万円/232百万円)	
			5割以上完了	8			
1割以上完了			5				
1割未満			2				
計			20	16			
合計				100	86		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		